



加治川小だより

新発田市立加治川小学校 第5号
新発田市上今泉 366 番地 1 画 33-2435
児童数 279 人 (R 元.9.11 現在)

ホームページアドレス <http://kajikawa-e.shibata.ed.jp/>

いい顔で

校長 安澤 たい子

大変な暑さの夏でした。夏休み中は、暑さを避けて、室内で過ごすことが多かったかもしれません。2学期が始まり、子どもたち279名が揃って元気に登校できて、本当に嬉しく思っています。夏休み中、ご家庭や地域での見守りや、声をかけていただいたことに、心から感謝申し上げます。

二日目からは給食も開始して、通常通りの授業を行っています。更に、6年生は、9月26日の親善陸上大会に向けて、4年生は、11月8日の市の音楽交歓会に向けて、それぞれ放課後練習を始めました。授業では、夏休みのたくさんの思い出や、頑張っ取り組んだ学習や作品作りの発表・伝え合い活動をしながらも、2学期の学習に取り組み始めたところです。

6年生は、陸上練習二日目に、ようやく天気恵まれ、それぞれの種目の記録をとることができました。私も、微力ながら走り幅跳びの計測の手伝いをしていました。踏み切り板付近で、スピードを上げて助走してくる6年生を見ていて、これはいいなあと感じたことがありました。それは、一人一人が必死に踏切まで走ってきて、力いっぱい跳んでいることでした。特に、その顔つきからは、助走と踏切で自分の力を出し切ることにしか考えていないという気持ちが、ひしひしと伝わってきました。

生きてると、どうしても踏ん張らなければならないことが起こります。それは、一瞬や一時的であったり、中長期にわたるものであったりします。そのようなとき、いかに自分なりに踏ん張れるかは、それまでどれだけ力を出し切ったり、踏ん張ったりした経験を積んできたかによるのではないかと考えます。もちろん、目の前のできごとに精一杯対応することで、また踏ん張る力は向上するはずで。

今、田んぼには、稲刈りを待っている実った稲穂が垂れています。加治川小学校の子どもたちにも、2学期間頑張っ実りの時期を迎え、成長してほしいと願っています。始業式の前に、一人一人の名前を稲の実に見立てた黄色いシールに書き、下の写真のように学年ごとの稲穂にしてみました。2学期も、子どもたちと全職員で、「瞳輝き、笑顔あふれる加治川小学校」の実現を目指し、頑張ります。ご支援をよろしくお願いし

